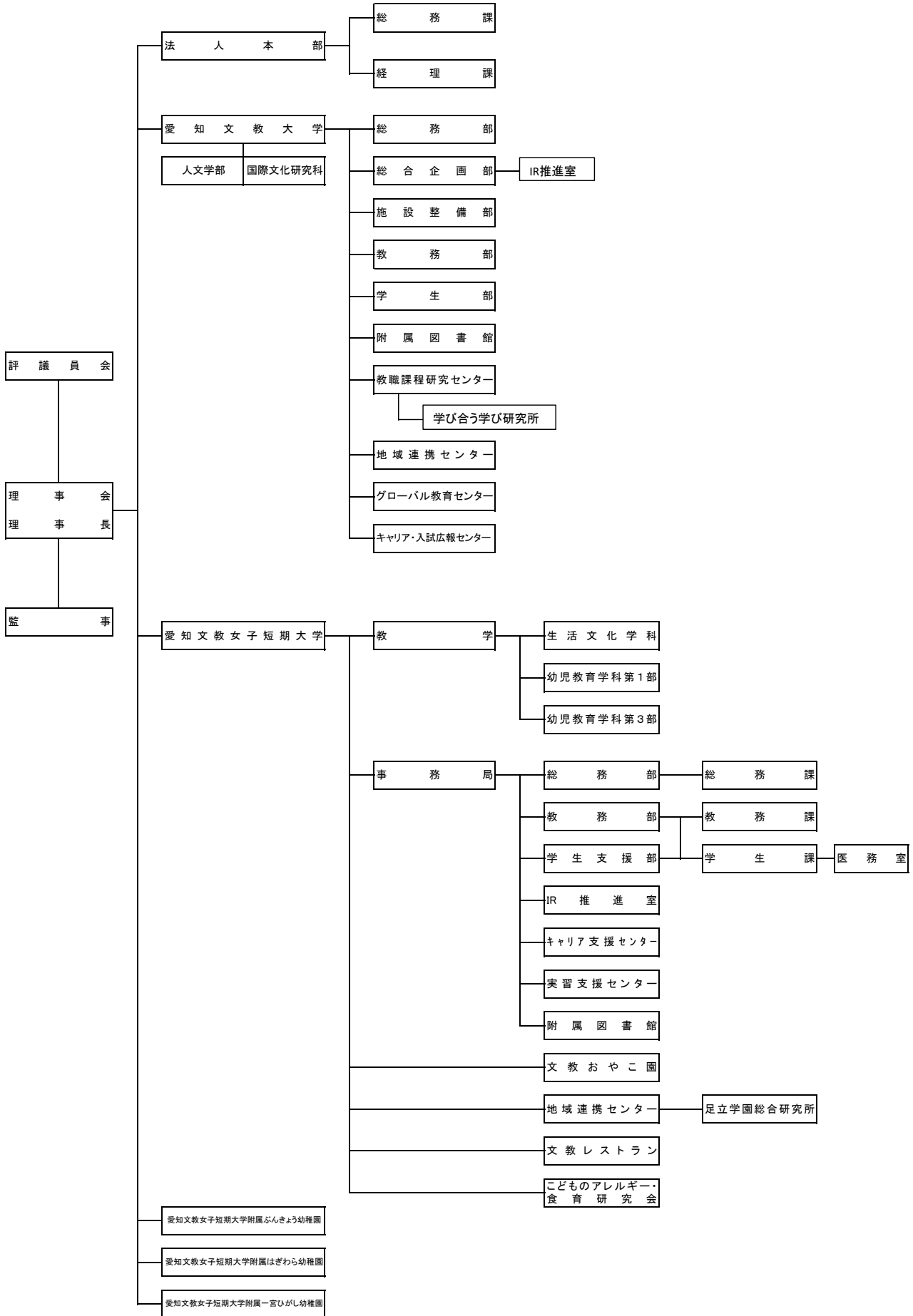


令和8年度

事業計画書

学校法人 足立学園

(3)学校法人足立学園組織図（2026年度）



(4) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2026年3月1日現在

学校名	学部・学科名	収容定員	1年	2年	3年	4年	計
愛知文教大学	人文学部	470	53	66	64	54	237
	大学院修士課程	16	2	4			6
	小計	486	55	70	64	54	243
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	140	26	25			51
	幼児教育学科第1部	100	7	12			19
	幼児教育学科第3部	210	38	43	37		118
	小計	450	71	80	37		188
学校名		収容定員	3歳児 (満3歳含む)	4歳児	5歳児		計
愛知文教女子短期大学附属ぶんきょう幼稚園		360	93	76	77		246
愛知文教女子短期大学附属はぎわら幼稚園		270	58	66	65		189
愛知文教女子短期大学附属一宮ひがし幼稚園		207	77	52	37		166
計		1,773	354	344	280	54	1,032

令和8年度 愛知文教大学 事業計画

1. 令和8年度広報戦略

(1) 入試広報の入試アドバイザー（高校訪問・ガイダンスをお願いしている高等学校校長経験者）を短期大学と協同して活動することにより、経費の軽減を行う。

(2) 「人文学はじぶん学」：「じぶん」を探究する5つのコース

①人文総合コース…日本文化の基礎的な知識を修得し、読解力や問題解決能力の育成を目指す。さらに自分を言語化する力を磨くとともに、自己表現力や人間力を高める。

②グローバル英語コース…「英語を」学ぶではなく「英語で」学んで発信する。英語をツールとして、世界で通用する「じぶん」になる。

4技能習得 Listening（聞く）、Speaking（話す）、Reading（読む）、Writing（書く）

※1年生の春期休暇中にセブ島での4週間の語学研修に参加

③中国語・中国文化コース…多角的な視野と知見を身につけ、初習者でも既習者でも中国語が「じぶん」の武器になる。

※HSK 学内受験

※1年生の春期休暇中に台湾へ3週間の語学研修に参加

※中国の提携大学に6か月 or 1年間の交換留学推薦あり

④教員養成コース…人文学部の教員養成課程だからこその強みで、教員採用試験の合格だけでなく、学校現場で活躍できる教員養成を目指す。

※毎年現役合格者と共に、各地の県立高等学校で講師を務め合格する学生も多い。

※本学にある「学び合う学び研究所」県内の小中高の現役教員が指導法を公開している。この研究所主催のセミナーに参加し、実践を学ぶ。小牧市への移管を依頼中（小牧市教育委員会）

⑤国際日本コース…日本語運用能力修得のみならず、本学での学修・体験を通じて真の知日派を育成する。日本語能力試験N2以上の取得を基本とし、日本語で考え、日本語で発信する科目を多く設けている。

(3) 「留学支援」…全員に留学のチャンスを与える。学生個々が「じぶん」の思いを尊重したプログラムに参加する。また、学生個人が導き出した留学プログラムを支援する。

①語学研修（英語・中国語）

ラプラプセブ国際大学（フィリピン）、国立台湾師範大学（台湾）

②交換留学

北京外国語大学、北京聯合大学、三江学院大学

③派遣留学

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

④パーソナル留学

学生自身の目的に応じ留学先を決定する。

⑤大学にて語学を学ぶ…学内留学

English ラウンジ、Chinese Communication ラウンジ、Japanese ラウンジ

⑥インターネットを活用した国際交流学修

e-Tandem Learning , e-Global Communication

(4) 中長期計画として、人文学部を科学する人文学科とする。

教育科学、バーチャル科学の新設を検討する。

(5) 通信学習経験者推薦入試の導入を検討する。

通信高校生向けの特別入学試験、オンラインプレゼン等を検討する。

(6) 4年計画の人文学部学びキーワード「ことば」の集大成を完結する。

愛知文教大学は教養科目の学修キーワードを「ことば」として展開、4年が過ぎた。「ことば」を大学教育の根幹をなすものと位置づけ、意思伝達の道具としての言葉を、社会や文化との関わりから問い直す研究を進めた。4年間を通して「ことば」と社会との関係を体系的に学び、成熟した社会の一大要素として「ことば」を捉えることのできるグローバル人材の育成を目指す。

2. 交換留学生・編入生・海外提携大学との私費交換留学

(1) ニュージーランド、カナダへの留学、中国（北京外語大学、北京聯合大学、三江学院大学）への交換留学制度

(2) 提携大学からの私費交換留学（1年以下）、編入学（2年以上）、大学院への進学を提携項目に付け加えた。

3. 地域・社会活動

(1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教職員の参加

(2) 小牧市の文化財啓発事業に協力し、古文書入門講座、小牧市歴史講座、小牧市歴史基礎講座、小牧市文化財地図作成等を実施

(3) 小牧市学習チューター制度（小中学校の学習支援）への協力

(4) 小牧市国際交流協会の事業協力

(5) 小牧市、羽島市との連携事業を充実させる。

以 上

令和8年度 愛知文教女子短期大学 事業計画

1. 令和8年度より学生募集を停止した

令和8年度は生活文化学科2年、1部幼児教育学科2年、3部幼児教育学科2,3年短期大学を閉校するのは令和9年度（令和10年3月31日）である

2. 学生が卒業するまで「教育の質」は落とさない。

(1) 生活文化学科 食物栄養専攻

①「フードビジネス」コース

食品開発、商品開発、食品流通、衛生管理、外食産業（カフェ経営）などに興味があり、食品業界へ就職を希望する学生

②食育コース

栄養教諭資格取得希望者、特待生、大学既卒等社会人入学生、保育所栄養士希望者

③「スポーツ栄養」コース

アスリート、スポーツ選手に対して栄養の指導を行うことを目標とする学生

(2) 生活文化学科 生活文化専攻

①情報デザインコース

パソコンやタブレット等の情報機器やデザインソフトを使用した実践的な学びにより、社会で求められる「情報発信力」を育成

②総合ビジネスコース

ビジネス実務やプレゼンテーションスキルを磨き、公務員や金融業界への就職

(3) 幼児教育学科 1部、3部

①こども音楽コース

障害のある子どもに対して、音楽を通じた支援方法について体験的に学び、専門的な知識と技術を身につける（こども音楽療育士）

②こどもとおもちゃコース

文教おやこ園を通して地域の子育て支援方法について学ぶ。また、おもちゃの選び方から遊び方、関わり方を実践的に学ぶ。（地域子育て支援士二種、おもちゃインストラクター）

③こどもスポーツ・レクリエーションコース

レクリエーション活動を通じて、誰もがスポーツ・レクリエーションを楽しめる指導者を目指す（レクリエーションインストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、幼児体育指導者検定）

(4) 海外研修

① ニュージーランド幼児教育研修

令和7年度実施したが、令和8年度は参加希望者数により実施を検討する。

② 韓国でのSDGs体験研修 「韓国語」の授業とタイアップ

令和7年度実施したが、令和8年度は参加希望者数により実施を検討する。

3. 文教おやこ園

稲沢市の委託事業(2020年4月から稲沢市役所委託事業として補助金運営)

週5日 9:30~15:00

令和9年度(稲沢市との提携が出来なければ令和8年度)をもって終了とする。

4. 地域連携センター(足立学園総合研究所)の活動支援

(1) プラントベースの商品開発プロジェクト

株式会社名古屋食糧、株式会社おとうふ工房いしかわ、大田油脂株式会社

令和7年度はプラントベース「夢みるグラノーラ」の製造、販売

令和8年度をもって終了とする。

(2) サマーカレッジ2026

稲沢市・清須市

8月上旬 夏休み親子対象企画

短期大学、清須市春日公民館 SDGs 関連体験講座

令和8年度をもって終了とする。

(3) 食物アレルギー関連商品の開発、普及

社会福祉法人昭徳会(授産所高浜安立)

「ぱりまる」の普及(販売) 新商品の開発

令和8年度をもって終了とする。

(4) 稲沢市荻須記念美術館 大学パートナーシップ事業

令和8年度をもって終了とする。

(5) 学科による地域貢献事業

① 文教子どもフェスタ

② みんないっしょのクリスマス

③ ぶんきょう音楽祭(ぶんきょう幼稚園と共催)

令和8年度をもって終了とする。

以上

3. 財務の概要

(1) 資金収支予算書 (令和8年度)

(単位:千円)

科 目		予算額	前年度予算額
収入の部	学生生徒等納付金収入	509,162	614,452
	手数料収入	7,574	7,852
	寄付金収入	4,554	6,089
	補助金収入	210,575	227,734
	資産売却収入	300,000	828,403
	付随事業・収益事業収入	80,837	86,648
	受取利息・配当金収入	16,000	17,829
	雑収入	12,538	47,816
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	115,239	150,200
	その他の収入	374,254	331,839
	資金収入調整勘定	△ 171,589	△ 288,371
	前年度繰越支払資金	975,602	654,613
	合計	2,434,746	2,685,104
支出の部	人件費支出	631,364	711,609
	教育研究経費支出	254,122	290,209
	管理経費支出	173,450	243,082
	借入金等利息支出	0	0
	借入金等返済支出	0	0
	施設関係支出	0	2,035
	設備関係支出	1,600	25,535
	資産運用支出	110,000	110,000
	その他の支出	267,862	391,181
	予備費	5,000	5,000
	資金支出調整勘定	△ 28,792	△ 69,150
	翌年度繰越支払資金	1,020,140	975,603
	合計	2,434,746	2,685,104

3. 財務の概要

(2) 事業活動収支予算書

(令和8年度)

(単位:千円)

科目		予算額	前年度予算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	509,162	614,452
		手数料	7,574	7,852
		寄付金	4,554	6,089
		経常費等補助金	210,575	227,734
		国庫補助金	106,614	114,411
		地方公共団体補助金	103,961	113,323
		付随事業収入	80,837	86,648
		雑収入	12,538	48,706
		教育活動収入計	825,240	991,481
	事業活動支出の部	人件費	631,364	727,564
		教育研究経費	418,322	458,614
		管理経費	189,250	259,183
		徴収不能額等	0	1,070
		教育活動支出計	1,238,936	1,446,431
教育活動収支差額		△ 413,696	△ 454,950	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	16,000	17,829
		その他の教育活動外収入	0	0
		教育活動外収入計	16,000	17,829
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出計	0	0
教育活動外収支差額		16,000	17,829	
経常収支差額		△ 397,696	△ 437,121	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	0	0
		特別収入計	0	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	435,273
		その他の特別支出	0	15,078
		特別支出計	0	450,351
特別収支差額		0	△ 450,351	
予備費		5,000	5,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 402,696	△ 892,472	
基本金組入額合計		△ 18,060	△ 17,326	
当年度収支差額		△ 420,756	△ 909,798	

(参考)

事業活動収入計	841,240	1,009,310
事業活動支出計	1,243,936	1,901,782